

【2023年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
生活環境学演習		選択	1	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
榎田 哲弥	C308	t.enokida	木曜日 10:40~12:30		
授業の目的・概要	作業療法では対象者に合わせた生活環境を設定するため、福祉用具や住環境整備の提案を行う。提案の際には福祉用具・住環境整備に精通していることが求められる。また提案に際し、明確な根拠の提示も必要である。本演習では知識だけでなく、事例を通して作業療法士として求められる提案までの思考プロセスの一部を学習することを目的とする。原則、面接授業で行う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	本科目ではグループワークで知識のまとめ、事例検討を行う。積極的に議論に参加してほしい。				
教科書	作業療法学全書 第10巻「福祉用具の使い方・住環境整備」/編著：木之瀬隼/協同医書出版/2009年				
参考書	OT・PTのための住環境整備論 第2版/著:野村歆・橋本美芽/三輪書店/2012年 標準作業療法学「日常生活・社会生活行為活動」第2版/編:濱口豊太/医学書院/2022年				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	福祉用具について適応・使用方法等が説明できる。			OT (2)	
②	住環境整備に関する基礎知識が説明できる。			OT (2)	
③	対象者に適した福祉用具の選定・住環境整備ができる。			OT (2)	
④	根拠を示しながら自分の意見を述べるができる。			OT (3)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション	講義	予習：教科書の精読 復習：教科書・ノートの確認	1	
2	福祉用具の概略について学習する	講義	予習：教科書の精読 復習：教科書・ノートの確認	1	
3	福祉用具について学習する。	講義	予習：教科書の精読 復習：教科書・ノートの確認	1	
4	食事関連の福祉用具・環境整備について学習する	GW	予習：発表用資料の作成 復習：資料の確認	2	
5	学習内容発表 (食事)	講義、議論	予習：発表用資料の作成	1	
6	整容・更衣関連の福祉用具・環境整備について学習する。	GW	予習：発表用資料の作成 復習：資料の確認	2	
7	学習内容発表 (更衣・整容)	講義、議論	予習：発表用資料の作成	1	
8	排泄関連の福祉用具・環境整備について学習する	GW	予習：発表用資料の作成 復習：資料の確認	2	
9	学習内容発表 (排泄)	講義、議論	予習：発表用資料の作成	1	
10	移乗・姿勢保持の福祉用具・環境整備について学習する	GW	予習：発表用資料の作成 復習：資料の確認	2	
11	学習内容発表 (移乗)	講義、議論	予習：発表用資料の作成	1	
12	移動関連の福祉用具・環境整備について学習する	GW	予習：発表用資料の作成 復習：資料の確認	2	
13	学習内容発表 (移動)	講義、議論	予習：発表用資料の作成	1	
14	住環境整備について学習する	GW	予習：発表用資料の作成	2	
15	学習内容発表 (住環境)	講義、議論	予習：発表用資料の作成 復習：資料の確認	1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		40	0	60	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	0	0	30	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	15	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	15	0	0	15
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	福祉用具・住環境整備に関する知識、理解度を問う。				試験後に実施
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループで福祉用具・事例検討のプレゼンテーションを行い、質疑応答をし、発表・質疑応答の内容とプレゼンテーション力を評価する。 発表者以外でも内容を問わず積極的な発言は内容・回数で評価をしていく。				講義中に実施
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として10年以上の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	臨床経験を通して得た知見も取り入れ、福祉用具を用いることのメリット・デメリットを踏まえたより快適な日常生活活動とはどのようなものかに関して教授する。						
そ の 他	大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めません。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性あります。						